

第2回 仙台フォーラム「持続可能社会の構築と安心・安全」

開会挨拶
13:00～13:10

オープニング
ご挨拶 阿部 博之 東北大学名誉教授・元総長、科学技術振興機構顧問

基調講演
13:10～14:10

2012年2月、カキ養殖家・畠山重篤は、国連森林フォーラムより、森林保護に貢献した世界の6人「フォレストヒーローズ」に選出され、ニューヨークの国連本部で表彰を受けた。どうして、海の男が「森林の英雄」に？

森には3つある。山の森・海の森・心の森。それを教えてくれたのはカキだった。巨大津波に襲われた大震災から2年半。フォレストヒーローズの道は東北再生のみならず、日本、そして地球の再生への道につながっている。



テーマ「森は海の恋人 人の心に木を植える」

はたけやま しげあつ

講師 畠山 重篤 NPO法人 森は海の恋人 理事長

1943年、中国上海生まれ。県立気仙沼水産高校を卒業後、家業の牡蠣養殖業を継ぐ。海の環境を守るには海に注ぐ川、さらにその上流の森を守ることの大切さに気付き、漁師仲間と共に「牡蠣の森を募う会」を結成(2009年、NPO法人森は海の恋人を設立)。1989年より気仙沼湾に注ぐ大川上流部で、漁民による広葉樹の植林活動「森は海の恋人運動」を行っている。東日本大震災で牡蠣養殖施設等の全てを失うが、震災後の自然環境を活かした地域づくりを展開している。朝日森林文化賞(1994年)、緑化推進功労者内閣総理大臣表彰(2003年)、宮沢賢二イー・ハートブ賞受賞(2004年)、国連森林フォーラム(UNFF)「フォレスト・ヒーローズ」受賞(2012年)等。

14:10～14:30

休憩

パネル
ディスカッション
14:30～17:00

各パネリストによる講演
14:30～
ディスカッション
15:30～

テーマ「二つの価値を目指して——持続可能性と安全」

東日本大震災を契機として、安心できる社会とは何か、安全とは如何にして獲得することが出来るのか、日本人のみならず、世界中の人々が大きな関心を寄せています。安心・安全な社会の構築には、環境問題、経済成長、エネルギー政策、住民の健康、家計の負担上昇、市民感情、倫理など、長期的かつトータルな視点で捉えなければなりません。私たちの社会において持続可能性と安全という二つの価値を目指すとはどのようなことか、様々な観点から議論を繰り広げます。

パネリスト



すずき たつじろう 長崎大学核兵器廃絶研究センター
副センター長・教授

専門は工学。原子力政策、核不拡散政策、科学技術政策との関係から、原子力と社会の問題に取り組む。内閣府原子力委員会委員長代理(2010～2014)。核兵器と戦争の根絶を目指す科学者集団バグウォッシュ会議評議員。著書に「エネルギー技術の社会意思決定」「日本の未来社会」など。



のえ けいいち 野家 啓一 東北大学 総長特命教授

専門は哲学・科学基礎論。近代科学の成立と展開のプロセスを、科学方法論の変遷や理論転換の構造などに焦点を合わせて研究。日本哲学会会長、日本学術会議会員、東北大学文学部長、東北大学理事・副学長などを歴任。著書に「パラダイムとは何か」「歴史を哲学する」「科学の解釈学」など。



はせがわ こういち 長谷川 公一 東北大学 教授

専門は環境社会学。社会運動論、市民社会論、公共政策をめぐる環境問題と社会紛争、政策転換のプロセスにおいてNGO・NPO・社会運動組織のはたす役割などに注目して、社会変動過程を理論的・実証的に研究・分析。環境社会学の視点から、日本の原子力政策を批判してきた。著書に「脱原子力社会へ」「脱原子力社会の選択」「環境運動と新しい公共圏」など。



やくしじ たいぞう 薬師寺 泰蔵 慶應義塾大学名誉教授

専門は政治学。主に国際政治学と科学技術との関係。政策研究大学院大学客員教授、世界平和研究所特任研究顧問/理事、内閣府総合科学技術会議議員などを歴任。著書に「公共政策」「テクノデタント—技術で国が滅びるまえに」「国家の勢い—技術の「坂の上の雲」モデル」など。

コーディネーター



むらかみ よういちろう 東京大学名誉教授
村上 陽一郎 国際基督教大学名誉教授

専門は科学史・科学哲学。高等研の研究プロジェクト責任者として安全学を提唱。安全を求める人間の営みを統一的に把握する試みを続ける。高校時代からチェロを演奏し、クラシック音楽に関する造形も深い。東洋英和女学院大学学長などを歴任。著書に「安全と安心の科学」「科学者とは何か」「人間にとって科学とは何か」など。



公益財団法人国際高等研究所

私たち人類は、現在、様々な要因で持続的生存が脅かされるような諸課題に直面しています。次の世代の人々は、さらにその次の世代の人々は、今までどおりの生き方・価値観で、この地球上に生存し続けられるでしょうか。こうした時代的、社会的背景に由来する諸課題にどのように対処していくのか。そして、21世紀にあるべき文化・科学・技術は、どのような姿なのか。これらの問題に対して考えを進めていく定法はありません。国際高等研究所は、「人類の未来と幸福のために何を研究すべきかを研究する」ことを基本理念とし、産・学・官の協力のもと、これらの諸課題に基礎的研究によって取り組みます。世界の未知を結集して、これらの研究を展開していく中から、学術研究における新しい方向性を生み出し、あるいは新しい概念の創出を指向し、学術研究文化の発展に寄与することを目的に活動しています。

フォーラムへの参加申し込み



参加のお申し込みは
国際高等研究所Webサイト
<http://www.iias.or.jp/>
で受け付けております。

国際高等研究所

検索

会場へのアクセス

ウェスティンホテル仙台 グランドボールルーム

〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町1-9-1

tel. 022-722-1234 (代表)

*本フォーラムに関するお問い合わせにはお答えできません。

